

<第9回 建築ドローン技術セミナーのご案内>



建築分野におけるドローンの環境整備も徐々に進んでおります。今回、国土交通省が進める3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のプロジェクトであるPLATEAUについて、本セミナーを通して最新情報を共有する場を設けさせて頂きました。また、建築分野におけるドローンの活用について、消防防災、施工・デジタル技術、そして点検調査における係留や新たな調査技術などの紹介を通して、今後の建築分野におけるドローン利用の可能性や方向性を感じて頂けるセミナー企画としました。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

【名称】 第9回建築ドローン技術セミナー

【主催】 (一社) 日本建築ドローン協会 (JADA)

【後援】 (一社) 住宅瑕疵担保責任保険協会、(一社) 住宅生産団体連合会、
(一社) ドローン操縦士協会、(一社) 日本建設業連合会、日本建築工学会、
(一社) 日本ドローンコンソーシアム、(一社) 日本ドローン無線協会、
(一社) 日本UAS産業振興協議会、(一社) マンション計画修繕施工協会、
(公社) ロングライフビル推進協会 (五十音順)

【講習形式】 ZoomによるWebセミナー

【日時】 3月23日(水) 13:30-17:00 (オンライン受付: 13時から)

【講演内容】 挨拶 (一社) 日本建築ドローン協会 副会長 宮内博之 氏

①基調講演 まちづくりのDX (Urban Digital Transformation)事業 Project PLATEAUについて
国土交通省 都市局 都市政策課 大島英司 氏
Project "PLATEAU" チーム 企画専門官

②一般講演 消防防災分野におけるドローン利活用の現状と今後の展開
東京理科大学 理工学部 建築学科 教授 大宮喜文 氏
建築施工におけるドローンの活用

(一社) 日本建設業連合会 建築生産委員会 ICT推進部会 堀内英行 氏
先端ICT活用専門部会 主査
(株) 大林組 デジタル推進室デジタル推進第二部 部長

ドローン利用の安全技術と2点係留の実践
(一社) 日本建築ドローン協会 理事 二村憲太郎 氏

建築保全とドローン係留による新たな調査技術
東京理科大学 理工学部 建築学科 教授 兼松学 氏

建物調査におけるドローン活用の動向と新展開
建築研究所 材料研究グループ 主任研究員 宮内博之 氏

(※講演題目は、状況により変更する可能性があります。)

【参加費】 日本建築ドローン協会会員 3,000円(税込)/1名、
後援団体会員 6,000円(税込)/1名、非会員 12,000円(税込)/1名 (講演会資料を含む)

【定員】 100名 (先着順)

【申込詳細】 <https://jada2017.org/news/events/1369>

<発表者情報>

氏名	略歴
大島英司 氏	1998年 建設省入省、2020年国土交通省都市局建築指導課建築物防災対策室企画専門官として建築物の定期調査等を担当。2021年同省都市局都市政策課企画専門官に着任し3D都市モデルを担当。著書(単著)「都市に座標を一街区基準点を活用した測定のすすめ」(地球社)、(共著)「コンパクトシティ実践ガイドー医療・福祉・子育て連携!」(ぎょうせい)、「公共施設の再編ー計画と実践の手引き」(森北出版)など
大宮喜文 氏	1996年東京理科大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員、国土交通省建築研究所主任研究員、アルスター大学(英国)火災安全工学技術研究所客員教授などを経て、2011年より東京理科大学理工学部建築学科教授。日本火災学会賞、日本建築仕上学会賞論文賞、日本建築学会賞(論文)、総務省消防庁消防防災科学技術賞など受賞。
堀内英行 氏	1992年、株式会社大林組入社。大阪本店建築現場を経て情報システムセンターに配属。グローバルICT推進室に組織改編後、現場のICTを担当、2020年4月より現職。日本建設業連合会には2010年より建築本部生産委員会IT推進部会フィールド情報専門部会に参画、2012年よりスマートデバイス活用専門部会主査、2016年より現職。
二村憲太郎 氏	1995年芝浦工業大学卒業、同年西武建設株式会社入社、主に駅の建設等の現場業務を経て2008年よりプロポーザル部門へ異動、2015年より吹付けドローン「Serα」、無人芝刈機「HerbF」の開発開始、2点係留ガイド方式ドローン制御システム「ラインドローンシステム」を開発、現建築営業企画部 次長、2019年よりJADA理事、技術士(建築部門・総合監理部門)、趣味は読書と映画鑑賞
兼松学 氏	1999年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 助手となる、2006年 東京理科大学理工学部建築学科 講師、2016年 同 教授(現職)。2011-2012年 米国 UC Berkeley 客員研究員。日本建築ドローン協会 副会長、日本仕上学会 理事。2017-2018年度国交省建築基準整備促進事業T3検討委員会委員。2020年度NEDO事業「ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発」技術検討委員会委員。著書(共著)「日本建築学会 建築保全標準」など
宮内博之 氏	2003年東京工業大学大学院博士(工学)取得。東京工業大学建築物理研究センター助教、National Research Council Canadaに派遣され、2008年に韓国・忠南大学校建築工学科に異動、副教授となる。2014年より現職。日本建築ドローン協会副会長、日本建築学会ドローン技術小委員会主査、2017-2018年度国交省建築基準整備促進事業T3委員担当。2020年度NEDO事業「ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発」技術検討委員会委員担当。